

浜岡原子力発電所 3 号機 使用済燃料貯蔵プール内での異物確認について  
(続報)

2010 年 6 月 1 日

◆今回お知らせする内容

異物の回収 について	<p>当社は、5月28日に使用済燃料貯蔵プール<sup>※1</sup>底部で確認した異物を、5月31日に回収しました。</p> <p>回収した異物は、ケーブル等を束ねる際に用いる結束バンド(長さ:約15cm)でした。また、回収した結束バンドの材質を調査した結果、ナイロン製であることを確認しました。</p> <p>当社は、2007年2月に4号機の燃料プール内からナイロン製の結束バンドを回収した事象への対策として、2007年4月より燃料プール周辺で使用する結束バンドをナイロン製から耐久性に優れたポリエチレン製および金属製のもの、または水に浮くポリエチレン製の結束紐に順次変更しました。(燃料チャンネル着脱機周辺については、2008年2月に対策完了。)</p> <p>このことから、対策前に使用していたナイロン製の結束バンドが燃料プールに落下していたものと推定しています。</p> <p>今後も作業時の異物侵入防止対策の徹底に努めてまいります。</p> <p>なお、この異物が使用済燃料の冷却に影響を及ぼすことはなく、発電所の安全性への影響はありません。</p>
---------------	--

◆これまでにお知らせした内容

(2010年5月28日公表)

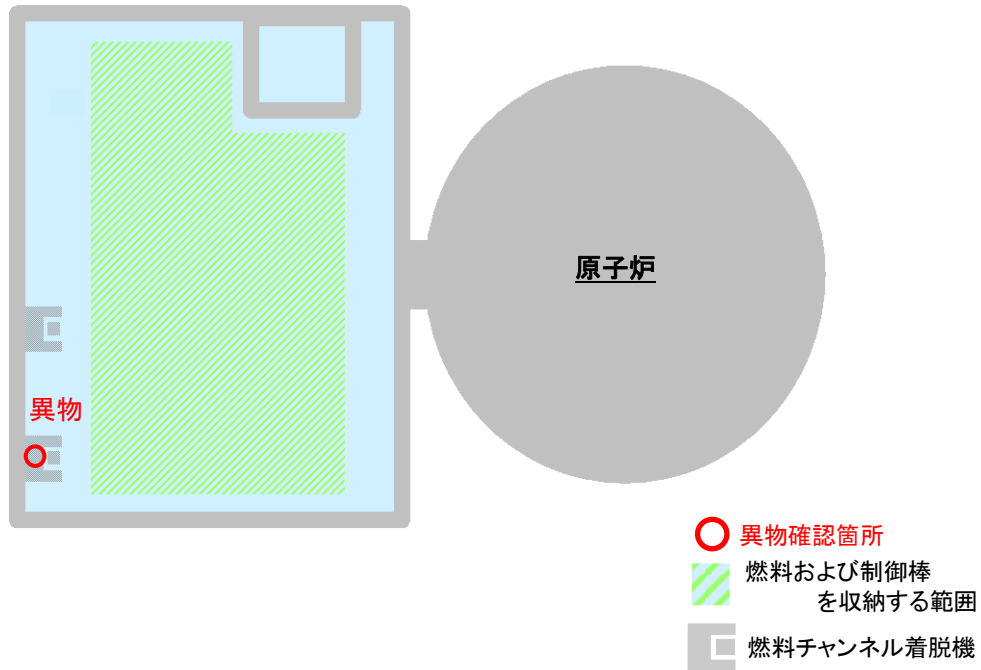
発生号機	3号機 (定格熱出力一定運転中) : 沸騰水型、定格電気出力 110 万キロワット
発生日月	2010 年 5 月 28 日
状況	<p>当社は、3号機原子炉建屋4階(放射線管理区域内)の使用済燃料貯蔵プールにおいて、燃料チャンネル着脱機の点検作業を行っていたところ、13時40分頃、使用済燃料貯蔵プール底部に長さ10cm程度のひも状の異物1つを確認しました。</p> <p>今後、準備が整い次第、確認した異物の回収作業を行います。</p>
放射能の影響	<p>本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。</p> <p>また、異物の回収作業に際しては、必要な放射線防護対策を講じた上で作業を行います。</p>
<a href="#">お知らせ基準</a>	「表 2-9 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき。」に該当します。

※1 使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料集合体や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。

※2 チャンネルボックスを燃料に取り付け、または燃料から取り外すための装置です。

以上

## 浜岡 3 号機 使用済燃料貯蔵プール内の配置と異物確認箇所



## 回収した異物

【異物】 ケーブル等を束ねる際に用いる結束バンド  
(ナイロン製 長さ:約 15cm, 幅:約 5mm)

